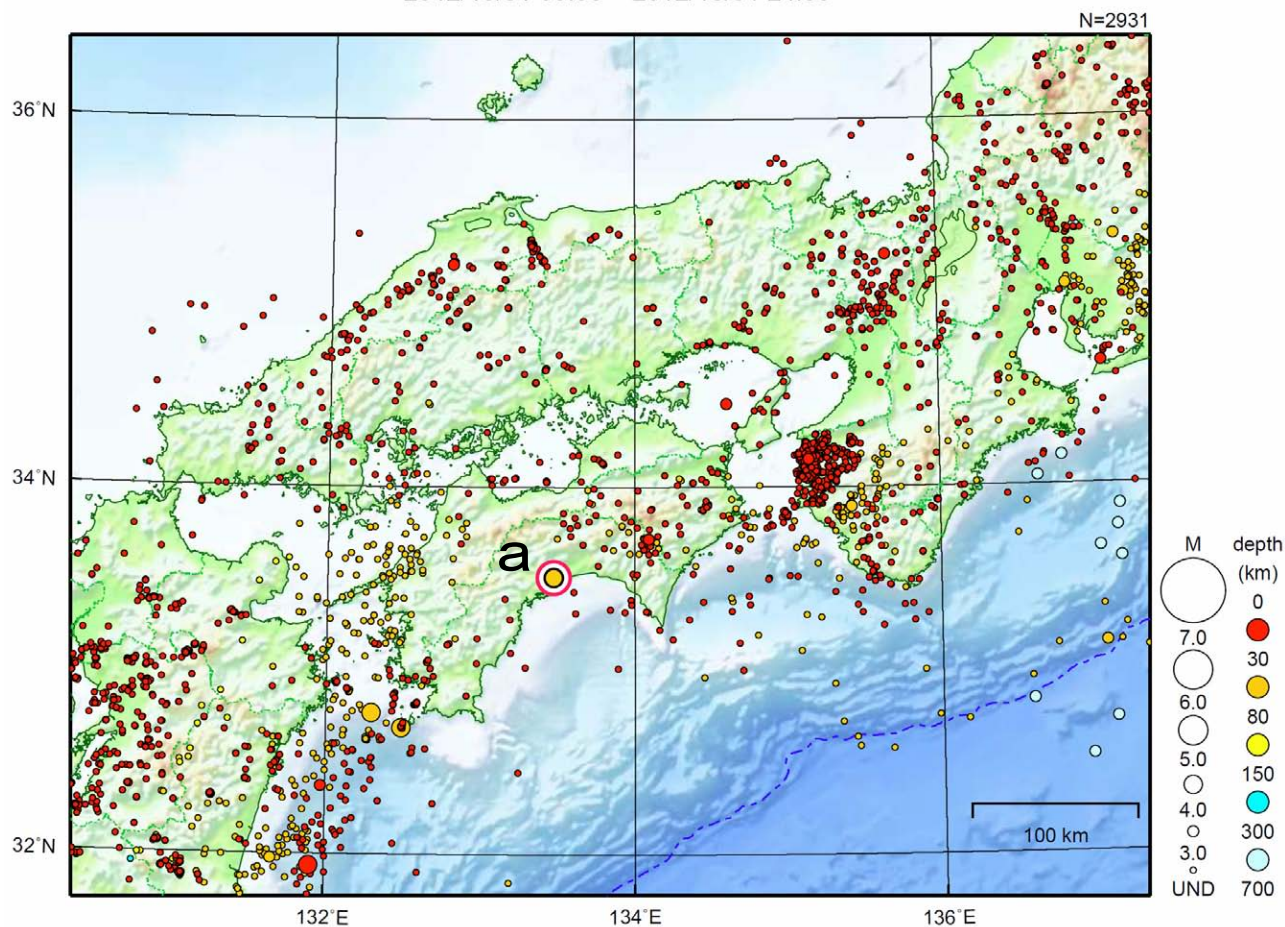


近畿・中国・四国地方

2012/10/01 00:00 ~ 2012/10/31 24:00



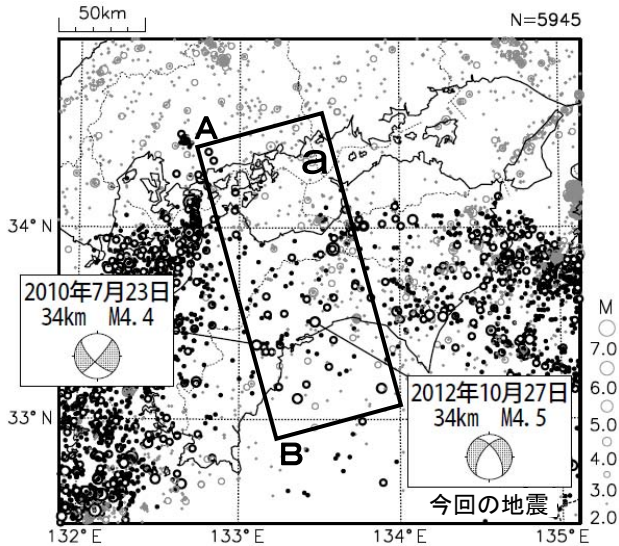
地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

a) 10 月 27 日に高知県中部で M4.5 の地震（最大震度 3）が発生した。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度 4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度 3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度 3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

10月27日 高知県中部の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2012年10月31日、
深さ0～60km、 $M \geq 2.0$)
30km以深を濃く表示

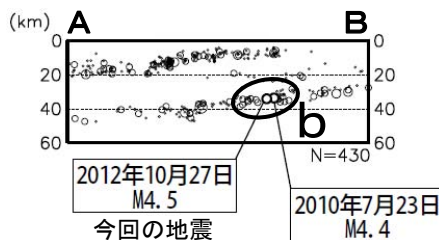


2012年10月27日4時44分に高知県中部の深さ34kmで $M 4.5$ の地震 (最大震度3) が発生した。この地震の発震機構は南北方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型で、フィリピン海プレートの内部で発生した地震である。

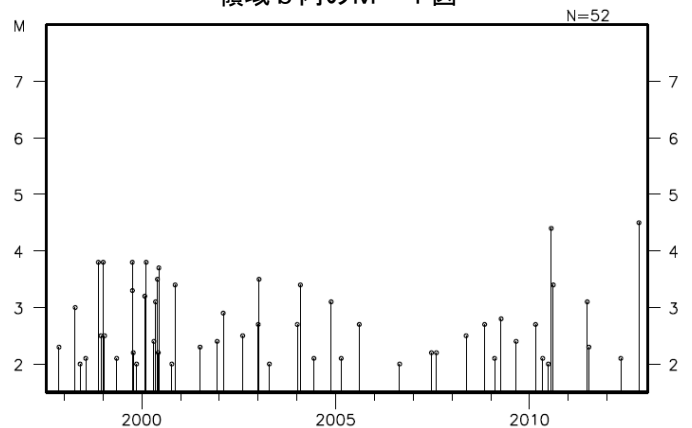
1997年10月以降の活動を見ると、今回の震源付近 (領域b) での、 $M 4.0$ 以上の地震は、2010年7月23日に $M 4.4$ の地震 (最大震度3) が発生していたのみで今回が2回目である。

1923年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、1946年12月21日の南海地震発生直後は地震活動が活発になっており、12月21日には $M 5.1$ の地震が発生した。この地震を最後に $M 5.0$ 以上の地震は発生していない。

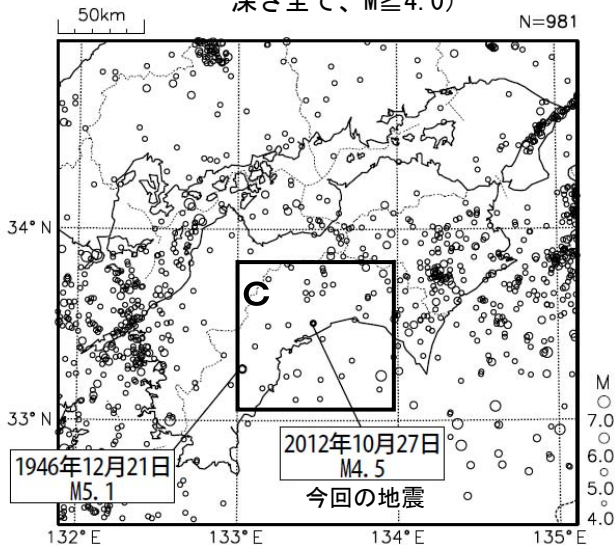
領域a内の断面図 (A-B投影)



領域b内のM-T図



震央分布図
(1923年1月1日～2012年10月31日、
深さ全て、 $M \geq 4.0$)



領域c内のM-T図

